

# ■総合計画進行管理総括表



「わたしたちはこんなまちにしてい」全般に対する評価と今後の対応

## ◇市の評価

### <総括評価>

#### ○全般に対する評価

- ・総合計画全体の評価について前年度と比較すると、審議会等からの意見を踏まえた評価では基幹計画は変わらなかったが個別計画ではA評価が二つ少なくなり、施策体系評価についてはa評価が九つ少なくなるなど、前年度より大きく下がっている。これは新型コロナウイルスの影響により、イベントなどの事業が予定通り実施できない、又は手段を変更するなどしたことで各計画が全体的に目標とするところに到達していない結果と受け止めている。
- ・一方で、オンラインによるイベント開催など、従来にはない手法のノウハウが蓄積できたことは評価できる。今後も with コロナ、after コロナの中で、各計画においては柔軟に対応して、着実に計画を進めていく必要がある。
- ・令和3年3月は、第4節の取り組みの方向「3 都市機能の整った快適なまち」に対応する個別計画を策定した。令和3年度から2カ年で中期実施計画を策定するため、施策の計画的な推進及び進行管理の観点から好ましくないと認識しているが、この間に新たな計画策定を急がないこととしている。

#### ○今後の対応

- ・新型コロナウイルスの影響により、テレワークなどが急速に進められていく中で東京都の転出超過や逗子市におけるファミリー層の転入超過の傾向にはあるが、依然として人口の微減傾向が続いており、少子高齢化及び人口減少に歯止めをかけるため、子育て世代を中心とした生産年齢人口層の転入増加、転出抑制を図る必要がある。子育て支援や教育のさらなる充実、逗子の自然環境を生かした子育て期のライフスタイルにあった働き方のできる環境づくりを進め、女性が活躍できるまちの実現に向けて取り組んでいく。
- ・新型コロナウイルスを言い訳にせず、platform ZUSHI BIZなどの企業誘致・起業促進の取り組みを進めていく。
- ・依然として台風やがけ崩れなどの自然災害による被害が増加している。こうした状況に鑑みて、対策が必要とされる市有地のがけ地の対象箇所について令和3年度中に対策済みとできる見通しを立てたが、日頃の備えが欠かせないため、地震や津波以外の自然災害への対策を引き続き注力していく。
- ・総合計画の進行管理においては、各審議会等から様々な課題のご指摘や今後の改善に向けたご提言をいただいた。今後、中期実施計画の策定にも取り組む上で、これらの「現場の声」を真摯に受け止め、活かしていきたい。

### 政策効果を高めるために、進捗を加速するために、工夫・重点化すべき点

#### ○予算

- ・下水道事業会計の経営改善に向けた使用料の改正と今後の財政需要を見据えた都市計画税の適正化に向けた検討を開始していく。
- ・公共施設の長寿命化対策を計画的に実施していくための財政ルールを確立する。
- ・企業版ふるさと納税の獲得に努める。
- ・選択と集中の観点から事業の見直しを含め、限られた予算を適切に配分できるよう検討していく。

#### ○人・組織

- ・デジタル推進課を新設し、庁内事務の情報化の担当課を総務部から経営企画部に変更し、組織の所掌をDX全般に改めた。デジタル技術に関して経験・知識を有する職員の採用とデジタルアドバイザーを招聘し、デジタル化に向けて取り組みを加速させていく。
- ・効果的・効率的な自治体経営を目指す観点から、選挙管理委員会事務局、監査委員事務局、公平委員会事務局の3組織の事務局を行政委員会事務局に統合した。

## ◇総括評価結果

| 柱   | 基幹計画評価 |          |          | 個別計画評価   |            |          | 施策体系評価     |            |            | リーディング<br>・基幹計画事業 |            |            |
|-----|--------|----------|----------|----------|------------|----------|------------|------------|------------|-------------------|------------|------------|
|     | Ⓐ      | Ⓑ        | Ⓒ        | A        | B          | C        | a          | b          | c          | (a)               | (b)        | (c)        |
| 第1節 | -      | 1<br>(1) | -        | -        | 5<br>(5)   | -        | 8<br>(6)   | 7<br>(9)   | -          | 11<br>(11)        | 13<br>(12) | 0<br>(1)   |
| 第2節 | -      | 1<br>(1) | -        | 1<br>(0) | 3<br>(4)   | 1<br>(1) | 6<br>(3)   | 10<br>(13) | 1<br>(1)   | 9<br>(5)          | 11<br>(15) | 1<br>(1)   |
| 第3節 | -      | -        | 1<br>(1) | -        | 4<br>(4)   | 1<br>(1) | 2<br>(2)   | 8<br>(8)   | 2<br>(2)   | 10<br>(12)        | 11<br>(9)  | 3<br>(3)   |
| 第4節 | -      | 1<br>(0) | 0<br>(1) | 1<br>(0) | 3<br>(4)   | 1<br>(1) | 6<br>(6)   | 4<br>(3)   | 5<br>(6)   | 9<br>(8)          | 4<br>(3)   | 5<br>(7)   |
| 第5節 | -      | -        | 1<br>(1) | -        | 2<br>(2)   | 2<br>(2) | -          | 7<br>(7)   | 4<br>(4)   | -                 | 7<br>(7)   | 4<br>(4)   |
| 合計  | -      | 3<br>(2) | 2<br>(3) | 2<br>(0) | 17<br>(19) | 5<br>(5) | 22<br>(17) | 36<br>(40) | 12<br>(13) | 39<br>(36)        | 46<br>(46) | 13<br>(16) |

※ ( ) の数字は、審議会等から指摘を受けた評価に変更した場合

## ◇総合計画審議会の意見／【Check】の観点からの意見等

### <総括評価意見>

- 1 (仮) 自治基本条例の検討が全く進んでいない。制定にはハードルが高いことは理解するが、事実上棚上げになっている状況が続くことは不適當である。今後の検討の方向性について市としての方針を定め、ペンディングではなく中止も選択肢として明確に示すべきと考える。
- 2 総合計画等に基づく計画行政という原則はあるものの、コロナ禍においては、新たな行政課題が発生するなどその影響も大きいことから、現下の情勢に応じた政策、施策の推進に取り組むことが肝要である。また、評価にあたっては、こうした観点を持って、計画全般を見渡すことが必要と考える。
- 3 総合計画全体の評価を単に各基幹計画・個別計画の評価結果の積み上げだけで測るのではなく、定量化の難しい定性的な要素も勘案し、全体を見た評価をすべきである。

### <各基幹・個別計画の評価状況についての意見>

- 1 基幹計画や個別計画の審議会等において市の自己評価より評価を下げたことは妥当だが、新型コロナウイルスの影響によりやむを得ない部分もある。
- 2 安全安心アクションプランの防犯対策事業については、防犯活動団体数の記載があるが、実態を捉えた適切な評価がされていないのではないかと。

## ◇総合計画審議会の意見／【Action】の観点からの意見等

### <今後の展開や策定に向けて考慮・検討を要する事項>

- 1 (仮) 自治基本条例の制定を待つことなく、住民自治協議会の根拠となるべき個別条例の制定に向け取り組みを進められたい。
- 2 コロナ禍において、直接市民参加を得る機会が減ったため、ICTやリモートなどのデジタルの手法を活用するとともに、それだけでは集められない市民の意見やニーズを取り入れていく工夫をしていく必要がある。
- 3 生産年齢人口層の転入増加の取り組みに加え、本市は高齢化率が高いことから、高齢者が活躍できるまちづくりを望む。
- 4 総合計画としては、政策、施策レベルを「5本の柱」「取り組みの方向」といった平面的な整理の仕方となっているが、行政課題の多面性や取り組みの波及効果を意識して効果的に横串を刺し、戦略的に取り組んでいくべきと考える。